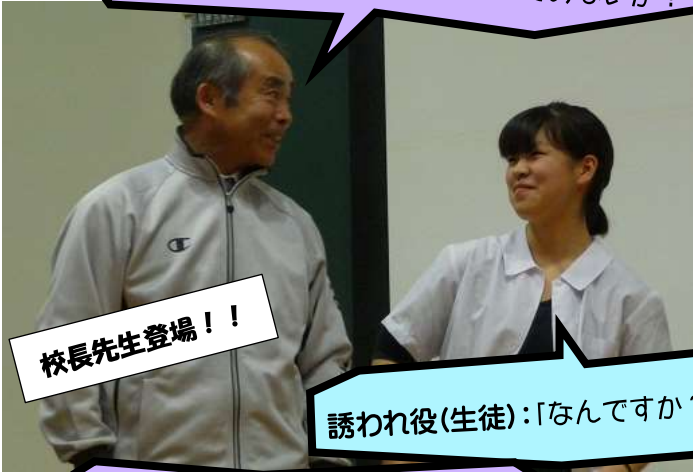


1 学年 薬物乱用防止教室

12月5日（月）、薬物乱用防止教室を実施しました。本校では、警察・薬剤師・学校の三者連携型の薬物乱用防止啓発プログラムDARPによる薬物乱用防止教室を取り入れています。

DARPは、ロールプレイングをとおして、薬物による心理社会的な対処法について実践的に学びます。



誘い役(教員):「疲れがとれて元気が出てくるいいものがあるんだよ。お前もやってみないか？」

校長先生登場!!

誘われ役(生徒):「なんですか？それ…」

学校薬剤師 前東先生 登場!

ちょっと待って! それは危険なものですよ! 薬物が体に及ぼす影響や危険性をお話いただきました。



誘い役(教員):「やせ薬だよ。食欲がなくなって食べなくても平気なの。」

誘われ役(生徒):「えー、それって本当に効くの?」

盛岡東警察署 小畑先生 登場!

ピーーツ!! 何をしているの? それは本当にやせる薬!? 実際に起きた事例を交え、薬物を乱用することで失うものは何かお話をいただきました。

もし、身近な人に勝われたら…?
断り方を考えよう!



私は絶対やらない!

そんなことやめて、もっと自分を大切にしまよ!

< 生徒感想 (抜粋) >

- ・自分の意志をしっかりと持って断れる勇気を持つことが大切だと思いました。
- ・薬物を断ることは、自分自身の健康や夢を守ることと同時に、家族を守ったり、周りの友達を守ることにもつながることが改めて理解できた。
- ・今でも薬物乱用をする少年が増えていることを知って、自分にも関係のある身近な問題だと思った。